

第1部 当報告書の位置付け

第2部 影響評価結果等一覧及び今後の主な取組の方向性

1 影響評価結果及び既存施策等の点検結果一覧

大項目	小項目	影響評価結果		既存施策等の点検結果		
		短期的な影響・被害の発生程度 (A)	長期的な影響の総合評価（影響の大きさ） (B)	影響把握・取組方針 (C-1)	関連既存施策等の現状 (C-2)	推進体制・基盤整備 (C-3)
農業・林業・水産業						
農業	水稲	○	○		△	△
	野菜	○	—	□	△	△
	果樹	○	△			
	麦、大豆、飼料作物等	○	△			
	病害虫、雑草	—	—	□	□	□
	農業生産基盤	○	△	—	—	—
林業	木材生産（人工林等）	—	○	□	—	—
	特用林産物（きのこ類等）	—	□			
水産業	増養殖等	□	□	影響発生の可能性が小さいため点検対象外		
水環境・水資源						
水環境	湖沼・ダム湖	○	△	□	□	□
水資源	水供給	○	△	□	△	□
自然生態系						
陸域生態系	高山系・亜高山帯	○	—	□	—	—
	自然林・二次林					
	里地・里山生態系					

大項目	小項目	影響評価結果		既存施策等の点検結果		
		短期的な影響・被害の発生程度 (A)	長期的な影響の総合評価（影響の大きさ） (B)	影響把握・取組方針 (C-1)	関連既存施策等の現状 (C-2)	推進体制・基盤整備 (C-3)
陸域生態系	人工林	○	—	□	—	—
	野生鳥獣による被害					
生物季節	生物季節	○	—	□	—	—
分布・個体群の変動	（在来種）	○	—	□	□	—
	（外来種）					
自然災害						
河川	洪水	○	○	△	△	△
	内水	—	—	△	□	△
山地	土石流・地すべり等	—	○	△	△	△
健康						
暑熱	死亡リスク	—	○	□	□	□
	熱中症	○	○			
感染症	節足動物媒介感染症	□	—	□	—	—
複合影響	光化学オキシダント濃度の上昇	—	—	□	□	□
県民生活・都市生活						
その他	暑熱による生活への影響	○	○	△	△	△

【凡例】 (A) ○：影響・被害が発生している可能性あり、—：どちらとも言えない・不明、□：影響・被害が発生している可能性なし (B) ○：大きい、△：中程度、□：小さい、—：現状では評価できない (C-1～3) ○：速やかに着手・検討（取り組むこと、構築）が必要、△：着手・検討（取組、構築）の加速化が必要、□：順調・対応済み —：現状では評価できない

2 今後の主な取組の方向性

農業（水稲）
 短期：高温障害を軽減する農作物栽培管理技術の開発及び普及・定着
 中長期：高温耐性を持つ優良品種の育成・導入及び普及

暑熱（熱中症）
 短期：ハイリスク者への見守りや声掛けの強化、「まちのクールオアシス」の拡充
 中長期：関連部局や民間企業等との連携を深め、対策を継続・強化

河川（洪水）
 短期：河川の防災情報の発信や洪水ハザードマップ活用の推進
 中長期：気候変動に伴って増大するリスクの評価及び必要に応じた対策の見直し

県民生活・都市生活（暑熱による生活への影響）
 短期：大規模施設や住宅街等におけるヒートアイランド対策の推進
 中長期：「彩の国みどりの基金」を活用した緑の創出

第3部 分野別取組の方向性

- 分野別に「影響評価結果」、「既存施策等の点検結果」及び「今後の取組の方向性」を整理
- 先駆的な適応策の取組を記載（記載分野：農業、自然災害（河川）、健康（暑熱）、県民生活・都市生活（暑熱による生活への影響））